

2021 年度第 1 回運営委員会・研究分科会代表者合同会議議事録

日 時：2021 年 5 月 21 日（金） 11：00～12：00

場 所：Web 会議

参加者：小林絵美（獨協大学）、細本有理子（成蹊大学）、藤順一（早稲田大学）、田邊豊（亜細亜大学）、久留宮健（法政大学）、西城智架（慶應義塾大学）、森浩生（玉川大学）、吉井香世（専修大学）、杉山友美（関東学院大学）

事務局：室井忠彦、水上裕子、島田貴司、佐々木綾花（立正大学）

オブザーバー：湯浅知二（亜細亜大学）、宮澤小野花（専修大学）

※順不同、敬称略

議事に先立ち、出席者の紹介が行われた。

議題：

1. 2021 年度研究部活動計画及び予算について（資料 合 01-01-01, 合 01-01-02）

資料に基づいて説明が行われた。運営委員会費はオンライン開催のため当面不要である。リモートでの環境が増えることを考え Zoom アカウントの購入を検討しており、運営委員会費から計上する可能性ある旨が説明された。

2. 2021 年度研究分科会の活動計画について（資料 合 01-02-01, 合 01-02-02）

和漢古典籍研究分科会代表者より資料に基づいて説明が行われた。2020 年度より会員に変更はない。2020 年度に引き続き Web 会議を年に 9 回実施予定で、内容は輪読発表や各自の図書館が所蔵する和漢古典籍資料の調書作成、和漢古典籍データベースの調書作成である。対面での実施はできていないものの可能なことを模索しながら月例会を進めている旨説明があった。

予算について、資料に基づいて説明が行われた。前年度の繰越金や分科会助成金に加え、Zoom 会議のため講師者謝礼金以外の支出がないことから、今年度特別助成金は申請しない。また、研究報告に関しては研究報告書の提出のみとなった。

3. 2021 年度研究分科会報告大会について

2. において報告済みである。

4. 分科会関連業務の分担について（資料 合 01-05）

資料に基づいて説明が行われた。各役割がある中で、次期には業務が統合されるため、

今期は業務の見直しが課題となる。

5. 2021 年度私立大学図書館協会スケジュールについて（資料 合 01-06）

資料に基づいて説明が行われた。昨年度に引き続きオンラインでの対応が増えることが想定される。

6. 2022-2023 年度研究分科会会員更新について

研究分科会及び参加会員の減少に伴う抜本的な対応が必要である。こちらは今年度の運営委員会の課題として継続的に協議を行っていく。

7. その他

研究分科会の今後の活動方法や内容について各委員より意見が述べられた。

運営委員より、研究分科会の新たなあり方の方法として、オンライン会議の積極的な導入と対面でも実施可能なハイブリッド開催の提案、専門性に特化した内容にとどまらず時代に即したテーマ設定など、具体的な案が多く提示された。また、オンラインでの開催は出張に伴う時間や経費の削減につながるほか、地域格差の解消にも有益である旨意見が挙げられた。今後の方向性として、今回挙げられた意見を事務局で取りまとめ、次回以降も継続案件として検討していく旨、研究担当理事校より説明が行われた。

配付資料：

資料 合 01-01-01 2021 年度研究部予算案

資料 合 01-01-02 2021 年度研究部活動計画案_20210412

資料 合 01-02-01 R3 活動計画書（和漢古典籍）（提出用）

資料 合 01-02-02 2021 和漢古典籍研究分科会予算計画書

資料 合 01-05 分科会業務分担

資料 合 01-06 2021 私大図協スケジュール 20210520

以上